

山梨市を背負って立つ議論をしよう ～合意形成に向けて考えを深める～

第3学年 A話すこと・聞くこと (ア・オ)
言語活動例 A・イ

◆本実践の概要

本実践では、合意形成に向けた話し合いにおいて、どのような力が必要か、またその力を習得するためにどのようなことを心掛けたいか、生徒自らが考え、個に応じた目標を設定させるため、ICT端末を用い撮影し、グループでの話し合い活動の様子を可視化した。

また、生徒が動画を振り返りながら、合意形成に向けた話し合いでの自分の課題を明確にし、全体での話し合いに臨むことができるように学習過程を工夫した。

1 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 [知識及び技能](2)ア
- (2) 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 [思考力、判断力、表現力等]A話すこと・聞くこと ア
- (3) 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等]A話すこと・聞くこと オ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元の評価規準

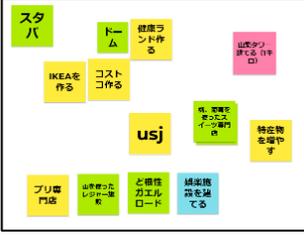
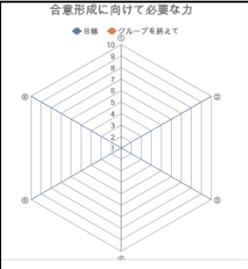
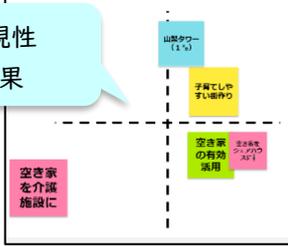
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (2)ア	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 (A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)	①粘り強く各班からの提案を吟味し、学習の見通しをもって、合意形成に向けて話し合おうとしている。

*本単元では、[思考力、判断力、表現力等]A(1)オを特に重点的に指導し評価する。

3 教材の特徴

本教材は、中学校三年間の最後の話し合い活動として、身近な社会生活の中から課題を見付け、その解決に向けて合意形成しながら話し合う活動である。グループで意見を出し合い、一つの具体的な提案に絞り、さらに全体会議で話し合うという流れである。たとえ自分の意見が採用されなくても、それぞれの意見を統合させ、協力し合って合意形成を図ることの価値に気付くことができると考える。それぞれの意見をただ統合させるのではなく、現実的で説得力のある提案になるよう、目的に沿いながら考える力を養う上で有効的であるといえる。合意形成をするための学習であることを理解させつつ、目的に向かって柔軟に話し合いに臨む態度を養いたい。

4 指導と評価の計画（A「話すこと・聞くこと」15時間中の5時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	1	<p>○課題意識をもつ 自分たちが、将来どれくらい山梨市に住みたいと思っているかアンケート結果を見る。</p> <p>○班ごと話し合い、課題と改善策を洗い出す。</p> <p>○「年齢」という視点でもう一度課題や解決策を洗い出す。 ・インターネットで調べる、新聞記事を調べる、生徒同士で相談するなど方法は各自で選ぶ。</p> <p>○自分が考えていく改善策を1つ決め、アイデアをまとめる。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャムボードで個人の意見を共有させる。 ・子育て世代の人口が減っていることが読み取れる統計グラフを見せ、個人の考えを再構成させる。  <p>他の班のものも参考に見ることができると、やりとりが生まれた。</p> 	<p>[思考・判断・表現①] ・観察、ワークシート② 目的に応じて、社会生活の中から話題を決め、提案する内容を検討しているか確認する。</p>
2	2	<p>○合意形成に向けて、必要な力は何か考える。</p>  <p>○グループの中で提案を1つに絞る話し合いの流れを決める。</p> <p>○グループごとにどのような提案をするか決める。 ・話し合いの様子を動画で撮影。 1 課題と改善策は何か。 2 何に重きをおくか。</p> <p>○撮影した動画を見て、自己分析を行う。</p>	<p>自己を見つめる観点になるよう5つ程度考えさせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 目的からそれない力 ② 相手の意見を理解する力（質問・確認） ③ 相手や自分の主張を批評する分析力 ④ 様々な考え方を受け入れる力（引用） ⑤ 共通点・相違点から新たな考えを生み出す力 ⑥ 話し合いの見通しをもつ力 <p>話し合いの流れを考えさせる。</p> <p>Xチャート、グルーピング、座標軸などを使って、実現性や効果などの観点をもとに、理由のある選択をさせる。</p> <p>縦軸：実現性 横軸：効果</p>  <p>課題：少子高齢化 提案：空き家の有効活用 内容：シェアハウスや高齢者施設、カフェにして外国人や高齢者が住みやすくする。しかも空き家も減らせる！</p>	<p>[知識・技能①] ・観察 自分の考えを、データ等を用いて具体的にまとめているか確認する。</p> <p>[主体的に取り組む態度] ・ワークシート① 動画を振り返り、話し合いに向けて、自分の目標を明らかにしているか確認する。</p>
3	3	<p>○グループ内でどのような順番で提案するか決める。</p>	<p>さらに実現可能な提案にするために、どのような情報が必要か、どのようなアイデアが必要か、考えさせる。</p>	

3	4	<p>○合意形成のためにつけたい力を確認する。</p> <p>○進め方を確認する。</p> <p>○全体討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで1つの改善策を決める。 <p>○進め方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定していた進め方と実際の進め方を比較し評価する。 	<p>・第2時で考えた「合意形成に必要な力」を想起させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・4人グループを2つに分け、A(15人)、B(15人)を作る ・それぞれの司会者を立てる ・時間は20分間 ・討議の流れは司会を中心に決める </div> <p>・話し合いの様子によって、教師が客観的にそれぞれの提案の課題点を指摘する。 例) 電車の本数を増やすには、駅の利用者数を増やさねばならない。</p> <p>・いくつかの「進め方」を共有する。</p>	<p>[思考・判断・表現②]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、ワークシート② <p>進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げているか確認する。</p>
	5	<p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の議論の内容を踏まえ、進め方や話し合いにおける力について評価を行う。 		<p>[知識・技能①]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 <p>具体的な提案になるよう検討しているか確認する。</p>

5 本時の指導（第4時）

(1) 目標 互いの発言を生かしながら、1つの解決策をクラスで創り上げる。

(2) 授業の展開

	学習内容およびその活動	指導及び支援	評価と留意点
導入	<p>1 本時の目標をおさえ、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>互いの意見をいかしながら、クラスで提案を創り上げよう!</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・合意形成に向けて身に付けたい力を確認する。 	<p>・どれにするか、ではなく統合していくことを確認する。</p> <p>「話し合いのIUPポイント」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①見失うな!「~のために」 ②意図を確認「つまり…」 ③比べてみて ④よいものは盗む ⑤しばられない ⑥どうすれば…。 	

<p>展開</p>	<p>2 グループごとに、提案の仕方を確認する。</p> <p>3 司会が流れを提示する。</p> <p>4 話し合いを行い、提案を一つにまとめる。</p>	<p>・司会・記録は教師から指名する。</p> <p>・議論が止まってしまったら、どのように話し合いを進めるか、整理させる。</p>	<p>[思考・判断・表現②]</p> <p>・観察、映像</p> <p>自分の意見と他者の意見を比べたり、他者の意見のよさを引き出したりしながら、合意形成に向けて意見を述べている。</p>
	<p>Aグループ それぞれの班の提案を目的という観点で分けた。Yに一本付け足し、四観点であると整理した。</p>	<p>Bグループ 最初に何に取り組むべきかを明らかに、全てが繋がっていると結論付けた。</p>	<p>[主体的に学習に取り組む態度①]</p> <p>・活動の様子、ワークシート</p> <p>自分が定めた目標を達成させられるように発言したり、考えたりしているか確認する。</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 ワークシートに自己評価を記入する。</p>	<p>・話し合いの流れと、自分の発言内容について考えさせる。</p>	

6 評価の実際

【知識・技能】の評価について、第2時において「客観的なデータ等を取り上げながら、自分の考えを具体的に提案している姿」を「おおむね満足できる」状況(B)と捉え、総合的に評価した。「他の自治体の様子や山梨市の統計データなどを参考にしている」姿を「十分満足できる」状況(A)と捉えた。第4時において、各提案の課題点を示された際に、「それぞれの提案のよさと課題点を結び付けながら意見を述べる」姿を「十分満足できる」状況と捉え、総合的に評価した。

【思考・判断・表現】の評価について、第1時において「グループごとの話し合いの流れにおいて、観点を意識した意見を述べることができる」姿を「おおむね満足できる」状況(B)と捉えた。「検討の仕方を考え、話し合いを進めている」姿を「十分満足できる」状況(A)と捉えた。

第4時において、本時の話し合いの自分の発言や思考を具体的に示しながら、自己評価している」姿を「おおむね満足」できる状況(B)と捉え、活動の様子と振り返りシートから総合的には評価した。隣の人と話す時間を作った方が意見を出しやすいと判断し、指示した生徒、2つの提案でぶつかったときに、それぞれの主旨を整理した生徒など、グループで1つの提案を創るという目標に意識しながら話し合いに参加していた生徒を「十分満足できる」状況(A)と捉えた。また振り返りシートから「意見を言えていない人もいたから、一人一人意見を言う機会を作ってもよかった。」「グループの話し合いの流れが1つに決まりかけていたところで、自分の意見を無理やり通そうとしてしまったので、話し合いを難しくしてしまった。他の人の意見のいいところも認めたい。」「〇〇さんが、2つの提案の共通点を見つけてくれたので、そこから『まず何をすべきか』みんなで決めることができた。」など自分たちの話し合いの問題点やよかった点を見だせている記述などを「十分満足できる」状況(A)と捉え評価した。

【主体的に学習に取り組む態度】の評価について、第2時、第4時において「自分の目標を達成するためにどのような発言をするか考えている」姿を「おおむね満足できる」状況(B)と捉えた。「自分の目標を達成すること、班やグループで合意を形成することを意識して話し合おうとしている」姿を「十分満足できる」状況(A)と捉えた。班ごとに出した意見を、大人目線で客観的に見て課題点を示すことで、新しい考えを出す必要性や選択する場面を生み出すことにつながった。

合意形成に向けた話し合い～自己分析プリント～

氏名 ()

☆グループでの話し合いを終えて
どうしてその評価?次に向けて?
次の話し合いに向けて、もっとも相手の意見に理解を深めたいと思った。だから、そのためにも、積極的に質問をしたほうが良いと思う。
そして、批評するかも足りなかったと思う。もっと、先の効果ないを、あげれば、もっといい話し合いになったと思う。

ぜひ、質問にかけろ!!

ゴール
自分の目標に対して、批評するものは何かもの、10点に近づけなかったのが、もっと深く質をしていきたいと思った。 相手が相手かどうかわからないように、「どうしてか」というふうに質問もできていたのがよいと思った。また、先も見通すかも、満点にはななかったが、時間ギリギリになっていたので、次は、グラフがラジしないので、メリハリをつけて、話し合いも、スムーズに行っていきたいと思った。

行きたいときに どうやるのか 課題点

合意形成に向けて必要な力

● 目標 ● グループを終えて

★なりたい自分とその理由
先を見通すかわからなく、いつまでも時間ギリギリに悩まうのでそれをこくなくしたい。
また、相手の意見を理解し尊重するのが苦手なので、こくなくしたい。

グループごとの話し合いを終えて、目標に対して自分はどうのように話し合いに参加できたのか振り返る。

これまでの話し合いを思い出しながら、自分の不得意な点はどこなのか、理想の自分を思い描きながら書く。

7 実践を振り返って (個別最適な学びと協働的な学びについて)

本実践では、合意形成に向けて必要な6つの力を設定し、班ごとの話し合い、グループの話し合いを終えたところで振り返りを行った。生徒一人一人が本単元の学習でどのような力を身に付けたいか、目標を立て、自己調整しながら学習を進めることができることをねらいとした。合意を形成する上で必要な力を事前に示したことで、生徒一人一人の課題意識が生まれた。個々の能力に応じて、隣の仲間にアイデアが提案する生徒、自分の意見を発言したいと考える生徒、他者の発言に対する反応を意識している生徒、司会に挑戦する生徒など、自分の目標に対して、どのように取り組むか自己調整しながら学習に取り組んでいた。また、振り返りシートで自己評価をグラフ化することで、合意形成への意欲が高まるとともに、自分なりの目標や課題を明確にすることができた。生徒の振り返りの記述からは、個別の目標を明確に設定させることで、生徒が目標と実際の活動を振り返り、学習調整が行われていた様子を見取ることができた。

班→個人→4人グループ→グループと繰り返すことで、他者の意見と自己の意見を比較しながら、意見を構築することができた。また、個人で調べるか、誰かと考えるかを選んで活動する時間を設けた。個人が調べたことを共有している姿や、新聞からアイデアを得ている姿も見られた。

1人1台端末上に自分の考えやグループの考えを保存し、自由に閲覧できるようにしたが、生徒が進んで参考にしたたり、全体での話し合いを深めるために事前に検討したりする姿も見られ、協働的な学びの手段として1人1台端末の活用は有効であると感じた。